

問1 国会における予算の審議や決定の仕組みについて、法律案や条約などの他の権限と比較した際の特徴として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 予算案の作成は国会が行い、その内容の妥当性を内閣が判断して承認する。
2. 予算案は法律案とは異なり、衆議院だけで審議を行い、参議院には審議の権限がない。
3. 予算案は、参議院よりも先に衆議院から審議を始めなければならないというルールがある。
4. 条約の締結と同様に、内閣が予算を成立させた後、国会は事後に報告を受けるだけでよい。

問2 江戸時代、佐賀藩の藩校などで教育が盛んに行われていた時期に、杉田玄白らが『解体新書』を出版したことが、その後の日本の学問に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 栄西や道元が伝えた禅宗の教えが、幕府の保護を受けて武士の間に広く浸透するきっかけとなった。
2. オランダ語を通じて西洋の学問を研究する「蘭学」が、日本で本格的に発展する基礎となった。
3. キリスト教の教義が医学と結びついて全国に広まり、欧米諸国との自由貿易が再開されるきっかけとなった。
4. 世阿弥が大成させた能や狂言などの伝統芸能が、町人の文化として全盛期を迎える要因となった。

問3 瀬戸内海に面した愛媛県などの地域に見られる気候の特色と、その特色を活かした農業の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. 夏の季節風の影響により年間を通じて降水量が多く、広大な平野を活用した大規模な稲作が盛んで、農業産出額の半分以上を米が占めている。
2. 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。
3. 冬に季節風の影響で雪が多く降る気候を活かし、夏でも涼しい標高の高い地域において、キャベツなどの高原野菜の栽培が盛んに行われている。
4. 年間降水量が2500mmを超える多雨な気候を活かして、平野部を中心にビニールハウスを用いた野菜の促成栽培が盛んで、農業産出額の半分以上を野菜が占めている。

問4 鎌倉時代、北条氏が「執権」という立場から政治を主導した時期の背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 室町幕府との違いを明確にするため、執権は武士の裁判だけでなく、寺社の管理や天皇の即位にも関与した。
2. 北条氏は朝廷から直接任命されることで、將軍に代わって全国の守護や地頭を指揮する権限を得た。
3. 源氏の將軍が絶えた後も、北条氏は自ら將軍にはならず、將軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。
4. 有力な御家人の不満を抑えるため、北条氏は執権の職を北条氏以外の御家人と交代で務める仕組みを作った。

問5 家計などの余剰資金を銀行が預かり、それを企業などの資金不足の主体に貸し出す「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定している理由として、最もふさわしい背景はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 不景気の際に、企業が資金を借りやすくするために、預金者から徴収した手数料を利子補填に回しているため。
2. 預金者が銀行に資金を預けること自体が投資であり、元本保証の対価として利子を低く抑える契約が一般的だから。
3. 日本銀行による金融政策により、すべての銀行の預金利子率を貸し出し利子率より下げることが法律で強制されているため。
4. 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。

問6 世界の州別の人口分布をまとめた資料において、陸地面積が世界全体の約6%を占めている一方で、人口の割合が世界全体の約0.5%と極めて低くなっている州はどこですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. オセアニア州
2. 南アメリカ州
3. 北アメリカ州
4. ヨーロッパ州

問7 1960年には日本の工業出荷額の約12%を占めていた繊維工業が、2014年には約1%にまでその割合を低下させました。代わって現代の日本において、出荷額の大きな割合を占め、日本の製造業の柱となっている産業の分類として正しいものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

1. 繊維工業、食料品工業
2. 機械工業、鉄鋼・金属工業
3. パルプ・紙工業、印刷工業
4. 木材・木製品工業、窯業工業

問8 第一次世界大戦が始まった1914年から1918年までの日本の貿易統計において、それ以前の傾向とは異なる大きな変化が見られました。この時期の輸出と輸入の関係および貿易収支について、正しく述べているものはどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 輸出額と輸入額がともに減少し、貿易額全体が縮小した。
2. 輸入額が輸出額を大幅に上回り、貿易収支が黒字から赤字に転じた。
3. 輸出額は増大したが、輸入額もそれ以上に増大したため赤字が続いた。
4. 輸出額が輸入額を大幅に上回り、貿易収支が赤字から黒字に転じた。

問9 近年、日本の製造業がアジア諸国に生産拠点を移す動きが加速しています。この動きの背景にある経済的な仕組みについて述べた文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「アジア諸国では日本に比べて（X）ため、企業は製品の（Y）を低く抑えることが可能になる。」 (2018年 佐賀県公立入試 類似)

1. X：労働者の賃金が安い
Y：生産コスト
2. X：熟練した技術者が多い
Y：研究開発費
3. X：法人税が極めて高い
Y：宣伝広告費
4. X：土地の価格が高い
Y：輸送費用

問10 工業製品の製造において、ある国が原材料を供給し、別の国が高度な部品を製造し、さらに別の国で製品の組み立てを行うといった、生産の役割を分担する体制が見られる。このような「国際分業」が世界的に広がっている背景や目的として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 地域で生産されたものをその地域で消費することで、輸送にかかるエネルギーを削減するため
2. 国内の産業を外国製品との競争から守るために、輸入品に対して高い関税をかけるため
3. 自国での生産性が低い商品は輸入に頼ることで、世界全体での効率的な生産を目指すため
4. 特定の国との間だけで関税を撤廃し、他国からの輸入品を排除して経済圏を安定させるため

問11 平成3年度から平成26年度にかけて、日本の地方自治体が発行する借金の残高は約55兆円から約146兆円へと大幅に増加しました。このような状況において、地方財政に与える課題として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. 公債費が支出の約17%を占めるようになると、民生費の削減が強制的に進められるため、結果として地方税の減税を行うことができる。
2. 借金による公共事業が活発になるため、将来世代はインフラ整備の恩恵のみを享受し、返済の負担を負う必要はなくなる。
3. 借金の返済にあてる公債費の割合が高まることで、教育や福祉などの行政サービスのための予算が圧迫され、さらに将来世代の負担が増大する。
4. 地方債の発行残高が増えることで地方自治体の収入源が安定し、地方交付税交付金に頼らない自立した財政運営が可能になる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 予算案は、参議院よりも先に衆議院から審議を始めなければならないというルールがある。	予算に関しては「衆議院の優越」が認められており、その一つとして衆議院に「予算先議権」が与えられています。これは、法律案が衆参どちらの議院から審議を始めてもよいのとは対照的です。また、予算案を作成するのはあくまで内閣であり、国会はそれを審議・議決する立場にあるという点も、条約（内閣が締結し、国会が承認する）など他の職務と整理して理解しておく必要があります。
問2	答え 2 オランダ語を通じて西洋の学問を研究する「蘭学」が、日本で本格的に発展する基礎となった。	『解体新書』の出版は、単なる医学の進歩にとどまらず、オランダ語を介して西洋の進んだ科学技術や思想を体系的に学ぶ「蘭学」という学問が確立される重要な契機となりました。選択肢にある禅宗は鎌倉時代、能は室町時代に関する記述であり、江戸時代の学問的發展とは異なります。
問3	答え 2 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候が続くという特徴があります。愛媛県では、この乾燥しやすく温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地を有効に活用することで、みかんをはじめとする果実の生産が極めて盛んになっています。実際の統計においても、農業産出額に占める果実の割合は約40.2%に達しており、米の約10.9%や野菜の約16.4%と比較して非常に高いのが特徴です。なお、年間降水量が極めて多い選択肢は、高知県などの太平洋側の気候を説明したものです。
問4	答え 3 源氏の将軍が絶えた後も、北条氏は自ら将軍にはならず、将軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。	北条氏は源氏の正統な血筋が途絶えた後、皇族や摂関家から形式的な将軍（宮将軍・摂家将軍）を迎え入れ、自らはあくまで「執権」としてその補佐を行う形式をとることで、幕府内での実質的な支配権を確立しました。この体制を執権政治と呼びます。北条氏は御家人の筆頭という立場を維持しつつ、一族で重要ポストを占めることで独裁的な権力を強めていきました。
問5	答え 4 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。	銀行は金融仲介機関として、多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業などに大口で貸し出します。銀行が健全に経営を続け、店舗の維持や従業員の給与、システムの管理を行うためには、収益を上げる必要があります。貸し出した際の利息収入が、預金者に支払う利息を上回るように設定することで、その差額が銀行の経費や利益を支える原資となります。
問6	答え 1 オセアニア州	オセアニア州はオーストラリア大陸や太平洋の島々からなり、陸地面積は一定の広さを持ちますが、乾燥した地域が多いことなどから居住に適した土地が限られており、人口比率は世界全体の1%にも満たない非常に低い数値となっています。
問7	答え 2 機械工業、鉄鋼・金属工業	日本の産業構造は、高度経済成長期を経て大きく変化しました。1960年代以前は繊維工業などの軽工業が重要な役割を果たしていましたが、その後の高度経済成長を通じて、自動車や電気機器を含む機械工業、およびそれらを支える鉄鋼や金属工業といった重化学工業へと中心が移り変わりました。
問8	答え 4 輸出額が輸入額を大幅に上回り、貿易収支が赤字から黒字に転じた。	第一次世界大戦が勃発すると、戦場となったヨーロッパ諸国の生産能力が低下したため、日本からアジア諸国などへの輸出が急増しました。それまでの日本は輸入が輸出を上回る「輸入超過（赤字）」の状態が続いていましたが、この大戦景気によって輸出額が輸入額を大きく上回り、貿易収支は劇的な「黒字」へと変化しました。この経済的な繁栄は、日本が債務国から債権国へと転換するきっかけとなりました。
問9	答え 1 X：労働者の賃金が安い Y：生産コスト	日本企業がアジアへ進出する大きな要因は、安価な労働力を活用することです。労働者の賃金を低く抑えることができれば、それだけ製品を製造するために必要な費用（生産コスト）を削減でき、国際的な価格競争力を高めることができます。したがって、Xには賃金に関する記述、Yにはそれによって抑制される費用の名称が入ります。
問10	答え 3 自国での生産性が低い商品は輸入に頼ることで、世界全体での効率的な生産を目指すため	国際分業は、各国が生産効率の高い分野に特化（特化）し、それ以外の効率が低いものは他国からの輸入で補うという考えに基づいています。これにより、世界全体でのコスト削減や技術の有効活用が進みます。選択肢にある「国内産業の保護（保護貿易）」や「地域内での消費（地産地消）」とは対照的な概念です。
問11	答え 3 借金の返済にあてる公債費の割合が高まることで、教育や福祉などの行政サービスのための予算が圧迫され、さらに将来世代の負担が増大する。	地方自治体が発行する借金である地方債は、道路や学校の建設などの財源となりますが、その発行残高が大幅に増加すると、毎年の予算において元金の返済や利子の支払いにあてる「公債費」の割合が高まります。公債費は法律などで支払いが義務付けられている義務的経費であるため、この割合が高まると、他の行政サービスに回せる予算が減ってしまいます。また、借金は長期間にわたって返済されるため、現在の行政サービスの対価を将来の住民が負担することになり、将来世代の負担増という公平性の問題も生じます。